

令和6年度 オホーツク西部森林室立木販売重点目標

オホーツク西部 森林室

1 地域材を活用した地域の取組みの促進 (①)

(1) 網走西部流域では、地域が一体となって森林認証に取り組んでおり、地域の素材生産業者、木材加工業者と、認証材のブランド化や販路拡大を目的とした協定を締結しています。

(2) 地域の素材生産業者を対象にした、計画的な雇用の確保や設備投資等の育成を目的とする事業や、地域の素材生産業者・造林事業者を対象にした利用期を迎えた人工林材の伐採、造林、保育等の一体的な実施による効率的な森林整備を目的とする事業をプロポーザル方式により特定者を選定し協定を締結しています。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給②

紋別市にある紋別バイオマス発電(株)は、年間約20万トンの木質バイオマス資源(林地未利用材等)を使用しており、地域の林業・木材産業に寄与していることから、林地未利用材等の効率的な搬出・運搬に取り組むなど、木質バイオマス資源の安定供給に努めます。

3 販売目標量

(1) 総販売量

73,400 m³

○一般競争入札

31,800 m³

○うち「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)

3,870 m³

○協定販売

4,000 m³ (うち新規 4,000 m³)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
4,000m ³	4,000m ³	m ³	m ³

○長期安定供給販売

6,900 m³ (うち新規 m³)

○伐採・造林複合協定型森林整備事業

6,400 m³ (うち新規 m³)

○その他販売

24,300 m³

(2) オープンカウンター販売

1 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。